

第8次 相模原市社会福祉協議会 地域福祉活動計画

さがみはらみんないいひとネットワークプラン

平成27年度～平成31年度

基本理念

みんなで支えあい 地域の力が育む 人にやさしいまち



1. 関係づくり

住民同士の支えあいの
関係づくりを促進し、
ネットワークの力で
地域を支えます

基本目標

2. 体制づくり

誰もが自分らしく地域で
いきいきと暮らせるよう、
福祉サービスや
支援体制を充実します

3. 人材づくり

福祉への理解と関心を深め、
地域福祉の担い手を
発掘するとともに、
多様なニーズに対応できる
福祉人材を育成します



相模原市協
マスコットキャラクター
にこまる

社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会

みんないいひとのまち ～5年後のさがみはら～



重点目標

1

地域で顔の見える関係、
支えあう関係づくり

おはよう
ございます
お元気
そうですね



集積所



ご近所おむすびサポーター

ご近所同士で困りごとや変化に
「気づき、受けとめ」周りへ
「つなぐ」人を広めます

いつも温かい
言葉とお弁当が
嬉しいわ

こんにちは
体調は
いかがですか



ふれあい配食協力員

お変わり
ないですか？



福祉って
お友だちを
思うこと
なんだね



福祉の心が
芽生える
お手伝いが
できて嬉しいな



みんないいひと体験講座

未来を担う子どもたちに、福祉が
身近にあることを伝えていく
講座を進めます

いいひと老人ホーム



老人ホームの
空きスペースを
地域に開放
しています

(仮称) さがみはら
地域福祉ネットワーク
福祉事業者や民間企業の
特性を生かした
社会貢献活動を進めます

重点目標

2

地域で困りごとを相談、
解決できる仕組みづくり

帰りに寄って
みようかしら

〇〇さん
最近サロンに
来ないわね



付添い
ボランティアを
お願いして
みましょうか？

通院が
不安だね…



いいひと地区
ボランティアセンター



相談者

住民相談支援活動

住民同士で困りごとを相談、
解決する仕組みづくり
(交流拠点、見守り活動、
地区ボランティアセンター、
ボランティアグループ等の充実)
を進めます



ボランティア

子育てが
不安なとき、
アドバイスに
ホッとします



保育士

引越して
きたばかりで
知り合いも
いなくて不安…

子育てサロンで
友だちづくりを
しましょう
いつでも来てね



民生委員

ふれあい・いきいきサロン、子育てサロン
仲間づくりや生きがいづくりのサロンでは、
気軽に困りごとを相談しあえる環境づくりを目指します。

重点目標

3

新たな生活課題を解決する
ための支援体制づくり

障がいのある子の
通学付添いを
お願い
したいです…



コミュニティ
ソーシャル
ワーカー

継続的な
通学支援の
グループを
つくりませんか？



近所の人にも
声を
かけようか

お辛いですが
一緒に考えて
いきましょう



地域と専門職の支援体制

制度の狭間にある課題を
地域・専門職と連携しながら
発見、支援していきます

自分の
体調も悪いし、
就職できない
息子の将来が
不安だね



近所の方での
見守りや
ボランティアを
お願いして
みましょう

高齢者支援センター



仕事中、
一人になる
認知症の
父親が心配です

見かけたら
声を
かけますね

困基なら
お相手
できますよ



デイサービス
センターを
探してみます

「みんないいひとのまち ～5年後のさがみはら～」をつくるために、基本理念、基本目標をふまえて市社協として以下の重点目標を掲げ、事業を展開していきます。ポイントは住民同士で「気づき、受けとめ、つなげる」ことができる関係づくりや、地域で困ったことを相談・解決できる仕組みづくり、そして制度の狭間にある課題を抱える家庭に対して、地域や福祉の専門職と連携して支援する体制づくりです。

重点目標

1

地域で顔の見える関係、支えあう関係づくり

重点事業

(1) ご近所おむすびサポーターの充実

ご近所の変化や困りごとに「気づき、受けとめ」、周りへ「つなぐ」人を広げます

(2) みんないいひと体験講座の充実

未来を担う子どもたちに、福祉が身近なものであることを伝えていく講座を進めます

(3) 地域福祉活動の新たな担い手の発掘と連携

様々な職種・年齢の人、団体が地域の活動に参加できるように、各種ボランティアセミナーや「(仮称)さがみはら地域福祉ネットワーク」を進めます



重点目標

2

地域で困りごとを相談、解決できる仕組みづくり

重点事業

(1) 地域の社会資源と連携した相談機能・解決力の充実

「困った時はお互いさま」と地域の住民同士で困りごとに向きあい、解決するための仕組みづくり(住民交流拠点、地区ボランティアセンター、見守り活動、ふれあい・いきいきサロン、子育てサロン等)を進めます

(2) 住民の相談を受けとめ、ボランティアの調整をするコーディネーターの育成

住民の中でも特に、相談を受けとめたり、地域などで活動するボランティアを調整するコーディネーターを育成します



重点目標

3

新たな生活課題を解決するための支援体制づくり

重点事業

(1) コミュニティソーシャルワーカーによる課題の発掘・支援

地域福祉の専門職であるコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置し、制度の狭間にある課題を抱える人に寄り添い、地域住民団体や専門機関と連携しながら地域で安心して暮らせるよう支援を行います。

(2) 生活課題やニーズの検証・分析から制度化に向けた提言

関わる課題や支援方法、過程を検証・分析し、新たな事業を開発したり、制度やサービスについて行政の施策に反映できるよう提言を行います

